

情報教育の実践

守谷市立黒内小学校

1 情報スキルに関する取組

守谷市小中一貫情報教育計画をもとに、本校の年間計画に学年ごとのリテラシーを位置づけ、機器等への技能習得のポイントを明確にして、系統的な活用スキルの向上を図っている。また、情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、発信・伝達できる能力を育成するために、インターネットを利用した調べ学習などをする際には、複数の情報源から確かな知識を作り出すことや情報の信憑性などについて意識させる学習が進められている。



2 情報モラルに関する取組

上記の情報スキルとともに年間計画に位置づけ、デジタルコンテンツや web サイトを活用した学習や道徳の時間を中心に学校教育全体を通して情報モラルの定着を図っている。保護者に向けは、期末 PTA の懇談会の際に、文部科学省が作成した資料を配布し、各学年の発達段階に合わせた啓発活動が行われた。

3 学校独自の取組

(1) 各教科での ICT 活用

本校では、算数、理科、社会において、全学年分のデジタル教科書を購入し、主に電子黒板に映し出すなどして、日々の授業に活用している。また、今年度は、指導者の手元を写すことができる書画カメラを新たに 3 台購入し、図工や家庭科などの技能教科でも ICT 機器を利用している。教科指導で ICT 機器を用いることは、課題や資料の提示が容易で、学習活動の効率化を図れる。授業では、児童の視線が集まり、視覚効果による「わかりやすい授業」の一助になっている。



(2) パソコンクラブ

本年度は「黒内小学校の PR ビデオを作ろう」をテーマに掲げ、本校を紹介する映像の制作活動を、年間を通して行った。タブレット PC の使い方だけでなく、自分の意図を効果的に表すために、画像や音楽の提示の仕方を工夫することについても子どもたちが自ら気づいて学習することができた。2 月に発表会を開き、優秀だった作品は本校のホームページで閲覧できるようにした。



(3) 学校ホームページ

学校全体及び各学年が、いつでもどこでも更新できるように考慮し、携帯電話から更新可能なブログのようなつくりになっている。職員の努力もあって学校の様子や校外活動での様子がリアルタイムに更新され、毎月 1 万件前後、閲覧されている。

(4) 職員研修

9 月からのタブレット PC の導入に伴い、夏期休業中にタブレット PC の使用方法と活用事例の研修を行った。そのため、授業に活用していく見通しをもって新学期を迎え、スムーズに授業に取り入れることができた。また、タブレット PC やその他の ICT 機器を活用した授業が積極的に校内で公開され、より実践的な研修をすることができた。



4 成果と課題

本年度より守谷市小中一貫情報教育指導計画が策定され、各学年の具体的な姿が明らかになった。児童に付ける力の内容が教師間で共有できたことにより、どのような場面で情報リテラシーの指導をしていくかが想像しやすくなり、より計画的に指導を進めることができた。しかし、児童を取り巻く情報の環境や問題はめまぐるしく変化している。適切かつ教師にとって簡便に ICT 機器を活用することや、トラブルに対応するための研修を重ね、より良い情報教育を推進していかなければならない。

1 年	○web サイトを利用して、漢字や計算の反復練習をした。 ○生活科で作った作品をタブレット PC で撮影し、電子黒板で発表し合った。
2 年	○web サイトを利用して計算の練習をした。 ○描画ソフトと文書作成ソフトを利用して、絵入りの自己紹介カードを作成した。
3 年	○web サイトを利用して、社会科の「昔の道具」について調べ学習を行った。
4 年	○ローマ字の復習をした。 ○タブレット PC を利用して、マット運動の様子を動画で撮影し合い、見返して、技を改善する活動をした。 ○総合的な学習の時間の中で、文献と web サイトの両方を利用した調べ学習をし、文書ソフトを利用してまとめた。
5 年	○模擬ソフトでのメールの送受信指導をした。 ○社会で、自分の考えを文章作成ソフトで表し、グループウェアの掲示板機能を利用して交流した。 ○総合的な学習の時間の中で、文献と web サイトの両方を利用した調べ学習をし、文書ソフトを利用してまとめた。
6 年	○総合的な学習の時間の中で、文献と web サイトの両方を利用した調べ学習をし、文書ソフトや、表計算ソフトを利用してまとめた。電子黒板を使って提示して発表したり、グループウェアの掲示板機能を利用して交流したりした。